

# 特色ある取組

ライフ  
ステージ

若者の就学・就職(結婚まで)

結婚・妊娠・出産

子育て

基盤整備

重点目標

若者の生活基盤の確保

希望する人が  
子どもを持てる基盤づくり

すべての子ども・子育て家庭への切れ目ない支援

「子どもは社会の希望・未来の力」、地域・社会の子育て力をアップする

## 1 キャリア教育の推進

- 小中学校におけるキャリア教育カリキュラム作成の促進と充実
- 全ての県立高校でのインターンシップの実施

## 2 就労支援

- 企業の人事担当者による合同の大学巡回説明会の開催
- 市町村の若者専用相談窓口への専門家の派遣
- 「ヤング・ジョブ・あいち」での相談、カウンセリング等の実施

## 4 結婚支援

～少子化対策は恋愛・結婚から～

県が実施してきた結婚支援事業を、全県的な取組に拡大する。

- 市町村や公的団体などが実施する「出会いの場の提供」の支援
- 県が中核となり、市町村や公的団体とのネットワークの構築

## 5 働き方の見直しや子育てしやすい職場環境づくり

- 官民一体となったワーク・ライフ・バランス推進の普及啓発
- ワーク・ライフ・バランスの先進企業事例集や県民向けハンドブックの作成・啓発
- ファミリーフレンドリー企業の登録拡大

## 7 安心安全な妊娠・出産の確保と妊治療への支援

～県民の要望が多い  
産科医療の充実～

産婦人科は診療制限している病院の割合が最も高くその改善をめざすとともに、県民の要望が多い産科医療体制を強化する。

- 三河地域での総合周産期母子医療センターの整備促進
- NICU(新生児集中治療管理室)の整備促進
- 寄附講座の設置など医学部を有する大学と連携した医師確保対策の推進

## 8 自宅で子どもを育てている家庭への支援

～孤立感・不安感が強い専業主婦層の強力サポート～

孤立感・不安感が強い専業主婦層に対する子育て支援を、拠点施設等への来所者向けサービスに加え、自分で来所できない人を含む一人ひとりに情報提供を行なう。

- 保健・福祉が連携した個人あての情報提供や相談を行う子育て情報・支援ネットワークの構築
- 一時預かりの促進

## 9 潜在的ニーズにも対応した保育サービス・放課後対策の拡充

～年齢・地域・子どもの状態などに応じた  
きめ細やかな保育サービスの提供～

保育ニーズと保育制度とのミスマッチ等を解消し、県民の多様なニーズに合わせた保育環境の整備を図る。

- 低年齢児(0歳～2歳)保育、病児・病後児保育の推進
- 放課後児童クラブの量的拡大・質的向上、放課後子ども教室の推進

## 10 経済的支援の充実

- 子ども医療費の無料化(通院:小学校入学前まで、入院:中学校卒業まで)の継続
- 第三子保育料無料化の継続

## 16 社会的養護体制の充実

～虐待を受けた子どもなどへの支援の強化～

親の離婚や虐待などにより養育を必要とする子どもを適切に保護するため、入所施設等の「量的・質的」充実を図る。

- 児童養護施設等の入所施設の定員増と施設機能の強化
- 里親委託等家庭的養護の推進

## 22 ボランティア・NPO等との協働推進

- 通学路や公園における見守り活動の推進
- 子育て家庭のニーズに柔軟な対応ができる子育て支援 NPOの活動支援
- 子育てを支援するボランティアの養成・活用

## 23 県民・企業が一体となって応援する機運の醸成

～「子育てにあたたかい愛知」の  
土台づくり～

行政・企業・NPO等が一体となって社会全体で子育て家庭を応援する機運の醸成を図る活動を推進する。

- 経済団体等との連携による子育て応援の日(はぐみんデー)の広報啓発活動の強化
- 市町村との連携による「はぐみんカード事業」の全県展開



はぐみん